

2008年3月期 第3四半期

財務・業績の概況 添付資料（決算説明会資料）



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



2008年3月期 第3四半期実績



2008年3月期 第3四半期実績

■ 業績ハイライト

国内たばこ事業で販売数量が減少するも、Gallaherの連結に加え、海外たばこ事業におけるトップライン成長の継続等により、増収・増益

(単位: 億円)

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	36,374	47,042	10,668 (29.3%増)
税抜売上高	15,631	19,089	3,458 (22.1%増)
EBITDA	3,711	4,862	1,151 (31.0%増)
営業利益	2,734	3,667	933 (34.1%増)
経常利益	2,760	3,286	526 (19.1%増)
四半期純利益	1,934	2,218	283 (14.7%増)



2008年3月期 第3四半期実績

国内たばこ事業

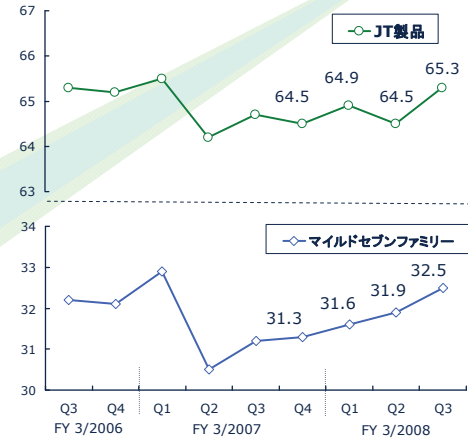
販売数量の減少により減収・減益

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	26,249	25,948	△ 301 (1.1%減)
税抜売上高 (除く輸入たばこ)	5,625	5,509	△ 115 (2.1%減)
EBITDA	2,565	2,446	△ 119 (4.6%減)
営業利益	1,967	1,821	△ 146 (7.4%減)

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	増減
JT製品販売数量	1,355	1,295	△ 60 (4.5%減)

(%)

《JT製品の市場シェア》



5



2008年3月期 第3四半期実績

海外たばこ事業

Gallaherの連結に加え、トップライン成長の継続等により、前年を大幅に上回る実績

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	増減
税込売上高	7,424	18,253	10,829 (145.9%増)
税抜売上高 (除く物流事業)	4,085	6,791	2,706 (66.2%増)
EBITDA	937	2,171	1,233 (131.6%増)
営業利益	709	1,740	1,031 (145.5%増)

円ドルレート(円)	115.90	119.41	3.51
-----------	--------	--------	------

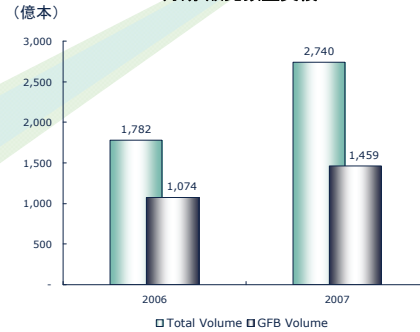
(参考) JTへのロイヤリティ支払い前

(単位: 百万USドル)

EBITDA	902	1,933	1,031 (114.3%増)
--------	-----	-------	--------------------

(億本)

《1-9月期 販売数量実績》



注) 2006年GFB: Winston, Camel, Mild Seven
2007年GFB (2007年4月18日以降):
Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

6



2008年3月期 第3四半期実績

Ⅱ 医薬事業

マイルストーン収入により増収、開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実を引き続き推進

臨床開発品目(2008年2月7日現在)

(単位:億円)

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	増減
売上高	360	397	37 (10.3%増)
EBITDA	△ 51	△ 19	32 -
営業利益	△ 73	△ 43	30 -

ステージアップ

新規臨床入り

開発名	適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質代謝異常	国内:Phase1
JTT-130(経口)	高脂血症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質代謝異常	海外:Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2 海外:Phase1
JTT-552(経口)	高尿酸血症	国内:Phase2
JTT-553(経口)	肥満症	海外:Phase1
JTT-651(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1
JTK-652(経口)	C型肝炎	海外:Phase1
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase1

*JTT-705: 導出先のロシュ社がPhase3移行を決定

7



2008年3月期 第3四半期実績

Ⅲ 食品事業

飲料事業・加工食品事業を中心に増収も、原材料費・労務費の増加等により減益

(単位:億円)

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	増減
売上高	2,185	2,277	92 (4.2%増)
EBITDA	107	90	△ 16 (15.2%減)
営業利益	66	56	△ 9 (14.9%減)



ルーツ「アロマブラック
ホットブレンド」



織茶「辻利」

8



2008年3月期 業績予想



2008年3月期 業績予想

国内たばこ事業

事業環境が厳しさを増す中、中間時と同水準の利益を見込むと共に、会社化以来初となる年度シェアの反転を目指す

(単位:億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	34,162	33,680	33,530	△ 150 (0.4%減)	△ 632 (1.9%減)
税込売上高 (除く輸入たばこ)	22,000	21,710	21,580	△ 130 (0.6%減)	△ 420 (1.9%減)
EBITDA	3,264	3,000	3,000	0 (増減なし)	△ 264 (8.1%減)
営業利益	2,453	2,130	2,140	10 (0.5%増)	△ 313 (12.8%減)

【主な前提条件】

(単位:億本)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
JT製品販売数量	1,749	1,680	1,670	△ 10 (0.6%減)	△ 79 (4.5%減)



2008年3月期 業績予想

海外たばこ事業

継続的なトップライン成長を踏まえ上方修正

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	9,996	26,300	26,400	100 (0.4%増)	16,403 (164.1%増)
税込売上高 (除く物流事業)	9,996	23,700	24,100	400 (1.7%増)	14,103 (141.1%増)
EBITDA	1,126	2,540	2,670	130 (5.1%増)	1,543 (137.0%増)
営業利益	810	1,930	2,020	90 (4.7%増)	1,209 (149.1%増)

(参考) JTへのロイヤリティー支払前

(単位: 百万USD)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
EBITDA	1,090	2,310	2,428	118 (5.1%増)	1,338 (122.7%増)

【主な前提条件】

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
総販売数量(億本)	2,401	3,850	3,856	6 (0.2%増)	1,455 (60.6%増)
GFB販売数量(億本)	1,452	2,030	2,032	2 (0.1%増)	580 (40.0%増)
円ドルレート(円)	116.38	118.00	117.85	△ 0.15	1.47

注1) 2008年3月期見込はJTIの2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

注2) GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

11



2008年3月期 業績予想

医薬事業

マイルストーン収入により上方修正

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
売上高	454	435	490	55 (12.6%増)	35 (7.8%増)
EBITDA	△ 81	△ 130	△ 75	55 -	6 -
営業利益	△ 112	△ 165	△ 110	55 -	2 -

食品事業

加ト吉の業績見込みを織り込み上方修正

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
売上高	2,865	2,970	3,525	555 (18.7%増)	659 (23.0%増)
EBITDA	120	115	135	20 (17.4%増)	14 (12.3%増)
営業利益	67	70	75	5 (7.1%増)	7 (11.9%増)

注1) 業績予想には加ト吉の買収に伴い発生する「のれん」の償却は織り込んでいない。

注2) 冷凍食品の一部自主回収の影響は織り込んでいない。

12



2008年3月期 業績予想

連結業績予想

主な利益指標はすべて二桁増を見込む

(単位:億円)

	2007年3月期 実績(A)	2008年3月期 中間時見込(B)	2008年3月期 修正見込(C)	中間時見込比 差異(C-B)	前年比増減 (C-A)
税込売上高	47,693	63,600	64,100	500 (0.8%増)	16,406 (34.4%増)
EBITDA	4,646	5,720	5,930	210 (3.7%増)	1,283 (27.6%増)
営業利益	3,319	4,050	4,220	170 (4.2%増)	900 (27.1%増)
経常利益	3,120	3,700	3,630	△ 70 (1.9%減)	509 (16.3%増)
当期純利益	2,107	2,560	2,460	△ 100 (3.9%減)	352 (16.7%増)

注1) 業績予想には加ト吉の買収に伴い発生する「のれん」の償却は織り込んでいない。

注2) 冷凍食品の一部自主回収の影響は織り込んでいない。

13



(このスライドは空白です)

14



【参考資料】

2008年3月期 第3四半期実績 および 2008年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

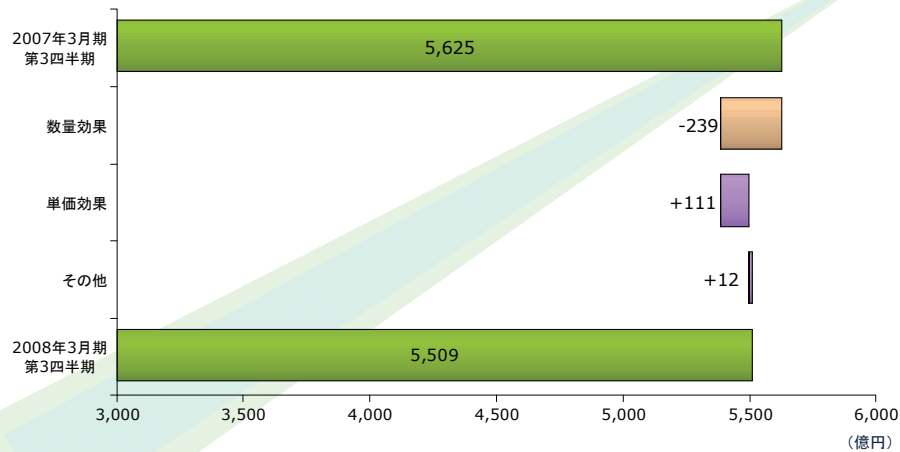
本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



2008年3月期 第3四半期 実績

国内たばこ事業 税抜売上高（輸入たばこを除く）

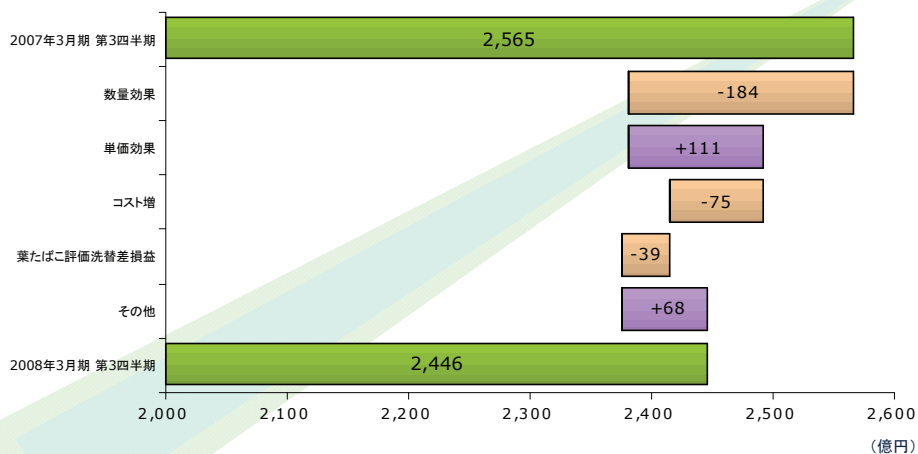


17



2008年3月期 第3四半期 実績

国内たばこ事業 EBITDA

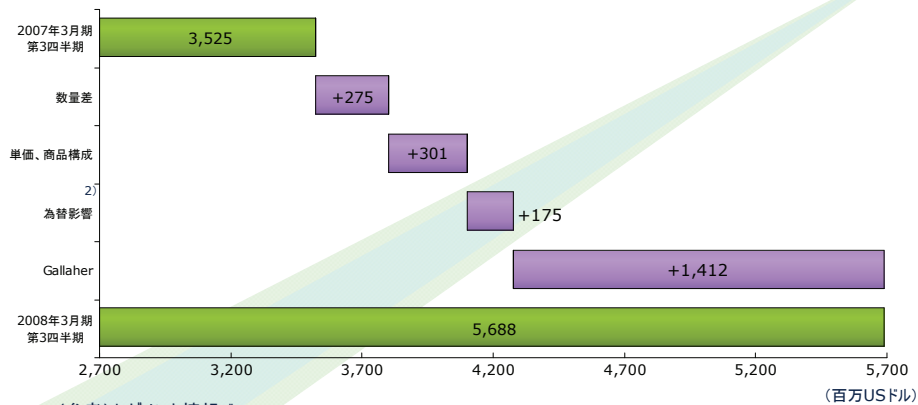


18



2008年3月期 第3四半期 実績

海外たばこ事業 税抜売上高¹⁾



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業税抜売上高¹⁾ 4,085億円 → 6,791億円 (2,706億円増)

注1) Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く。

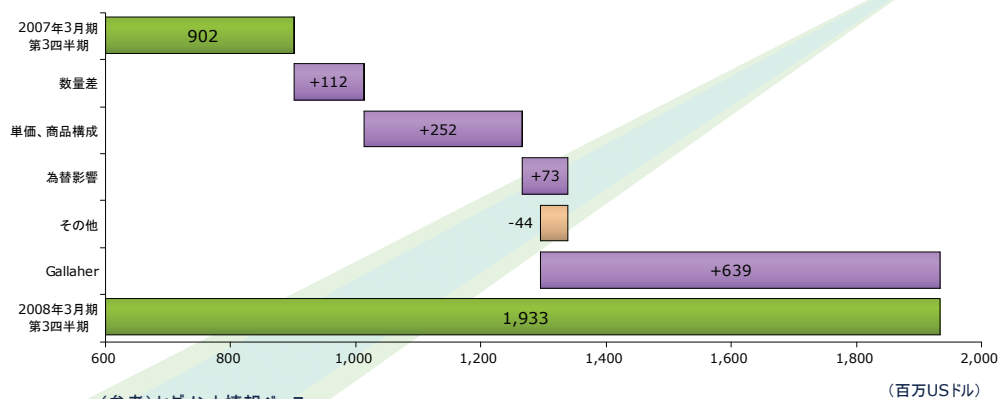
注2)ドルと各現地通貨との間の為替影響

19



2008年3月期 第3四半期 実績

海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA 937億円 → 2,171億円 (1,233億円増)

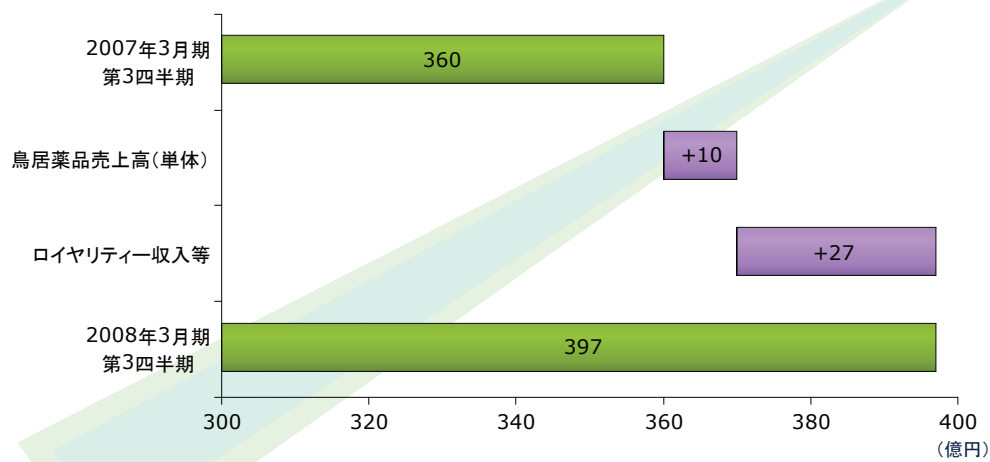
注)「為替影響」はドルと各現地通貨との間の為替影響

20



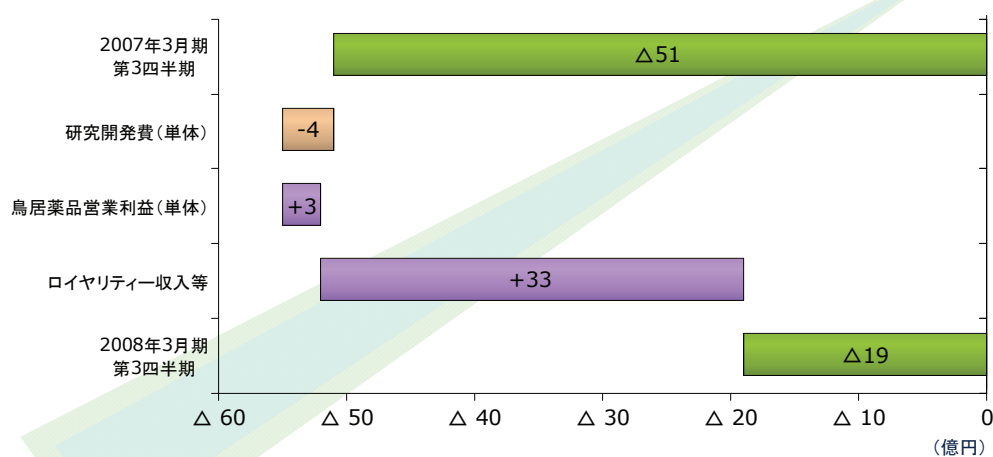
2008年3月期 第3四半期 実績

※ 医薬事業 売上高



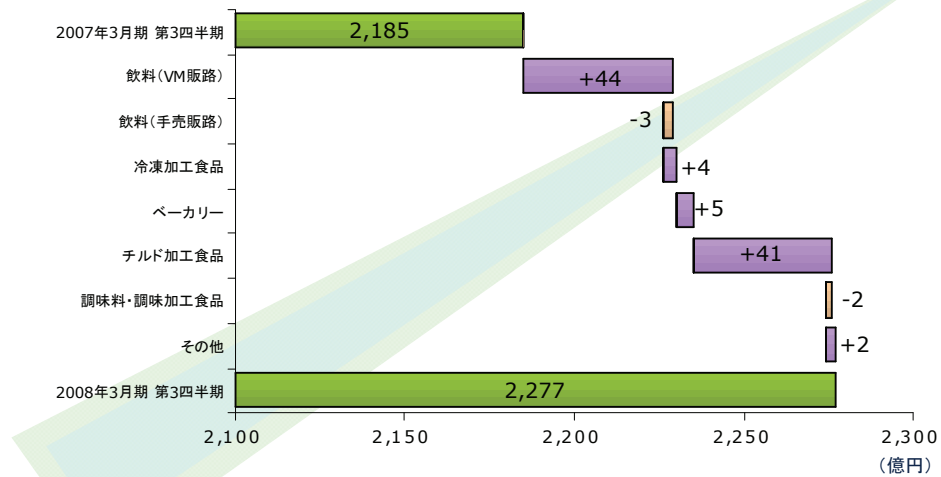
2008年3月期 第3四半期 実績

※ 医薬事業 EBITDA



2008年3月期 第3四半期 実績

※ 食品事業 売上高

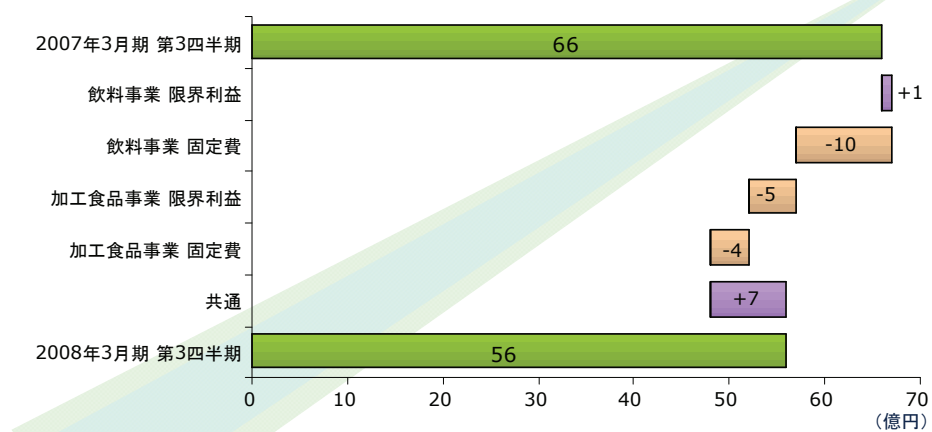


23



2008年3月期 第3四半期 実績

※ 食品事業 営業利益

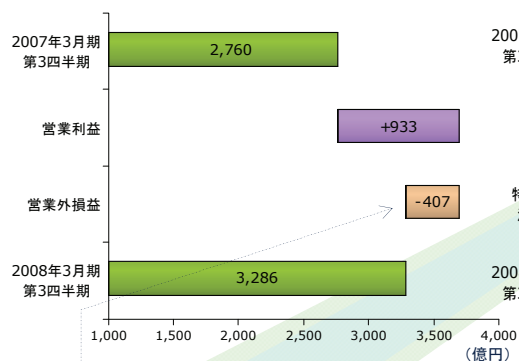


24



2008年3月期 第3四半期 実績

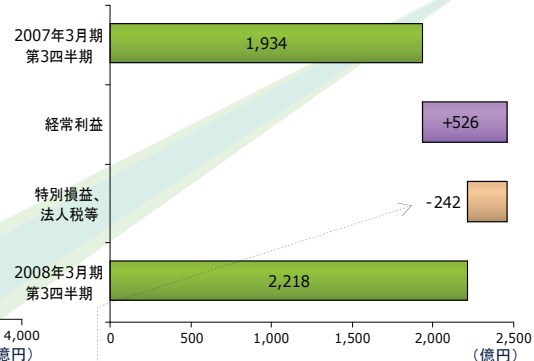
Ⅲ 経常利益



改善要因: 受取利息の増: 35億円
受取配当金の増: 19億円
たばこ災害援助金の減: 15億円
共済年金給付費用の減: 17億円 等

悪化要因: 為替差益の減: 57億円
支払利息の増: 251億円
為替差損の増: 163億円 等

Ⅳ 四半期純利益



改善要因: 固定資産売却損の減: 5億円 等
悪化要因: 固定資産売却益の減: 3億円
投資有価証券評価損の増: 69億円
減損損失の増: 8億円
成人識別自販機導入費用の増: 50億円
法人税等の増: 102億円 等

25



(このスライドは空白です)

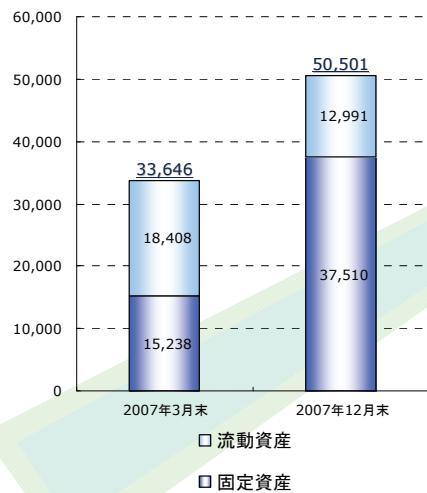
26



2008年3月期 第3四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部

(億円)



2007年3月末との比較

■ 流動資産は5,416億円減少

- ◆ 手元流動性*の減少 $\Delta 9,235$ 億円
*手元流動性=現金+有価証券+現金
- ◆ 営業債権*の増加 $+2,055$ 億円
*営業債権=受取手形及び売掛金

■ 固定資産は2兆2,271億円増加

- ◆ 設備投資による増加 $+844$ 億円
- ◆ 減価償却*による減少 $\Delta 1,194$ 億円
*減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費
- ◆ “のれん”の増加 $+1兆6,911$ 億円
- ◆ 商標権の増加 $+4,794$ 億円

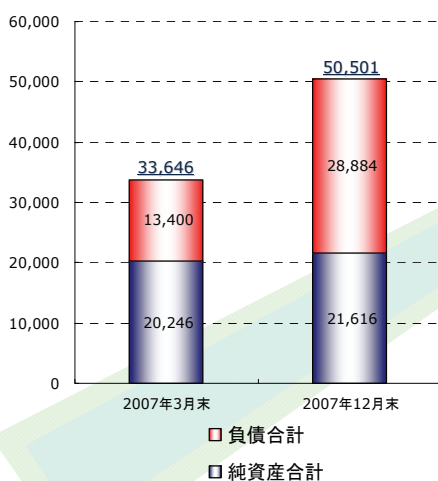
27



2008年3月期 第3四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部

(億円)



2007年3月末との比較

■ 負債合計は1兆5,484億円増加

- ◆ 有利子負債*の増加 $+9,984$ 億円
*有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金
- ◆ 未払たばこ税等*の増加 $+1,681$ 億円
*未払たばこ税等=未払たばこ税+未払たばこ特別税+未払地方たばこ税

■ 純資産合計は1,370億円増加

- ◆ 利益剰余金の増加 $+1,694$ 億円
- ◆ 為替換算調整勘定の減少 $\Delta 197$ 億円

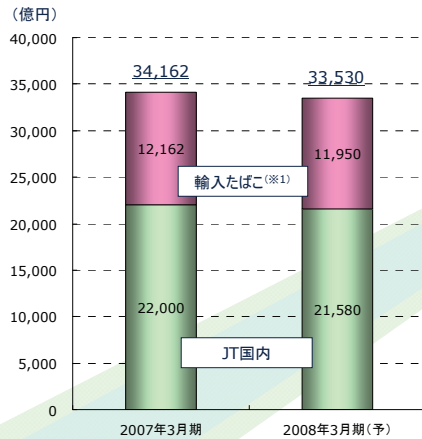
➤ 自己資本比率 **58.3% → 41.4%**

28



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 税込売上高



【主な増加要因】

- ・2006年7月の定価改定によるJT製品の税込単価増(4-6月期)

【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減
[1,749億本 → 1,670億本: △79億本]
- ・輸入たばこの減

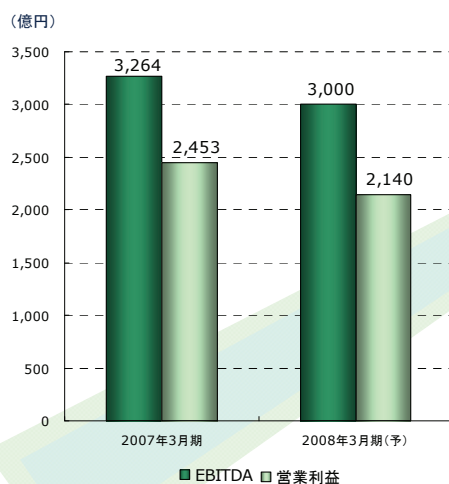
※ 連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいます。

29



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益



【主な増加要因】

- ・単価アップ: 約113億円

【主な減少要因】

- ・JT販売数量の減(△79億本): 約240億円
- ・コスト増、その他: 約83億円
- ・葉たばこ評価洗替差損益*: 54億円
[95億円(益) → 41億円(益)]

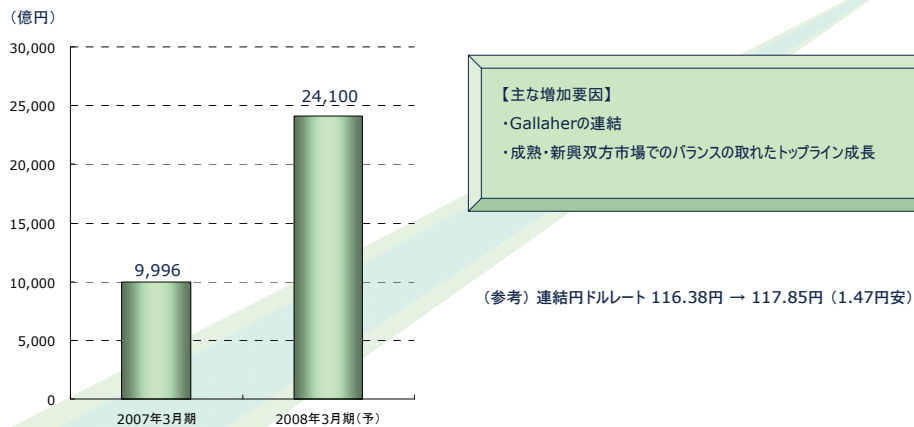
*2007年3月期をもって、評価替処理を廃止し、同期末における評価損を2008年3月期以降、3年間に亘って均等額を戻し入れる処理を行っている。

30



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

海外たばこ事業 税込売上高



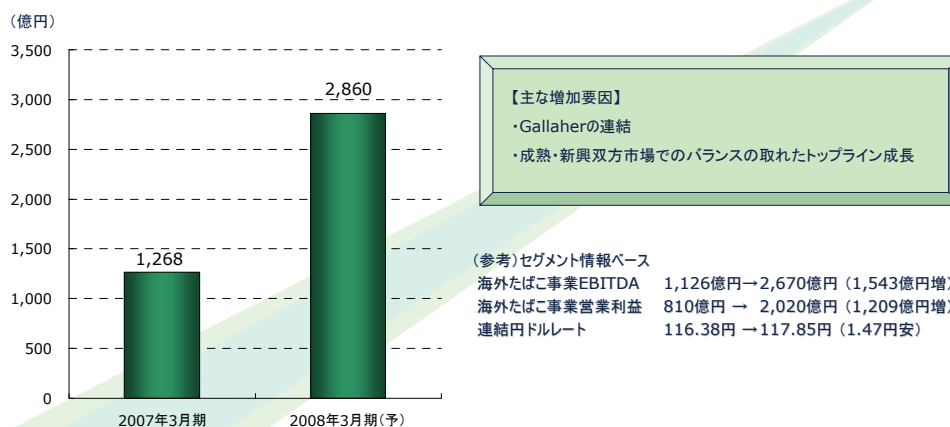
※Gallaherより承継した物流事業の売上高は除く、海外たばこ事業の見込は旧JTIの2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

31



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)



※ 海外たばこ事業の見込は旧JTIの2007年1-12月期及びGallaherの約8.5ヶ月分

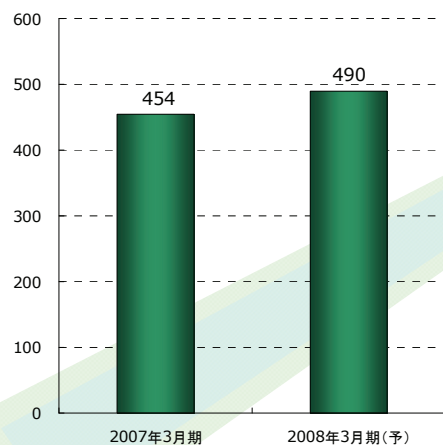
32



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

※ 医薬事業 売上高

(億円)



【主な増加要因】

- ・JTT-705に関するマイルストーン収入
- ・鳥居薬品の売上高:395億円→405億円(+9億円)

【主な減少要因】

- ・ピラセプトロイリティーの減
- ・'07年3月期:グラクソ・スミスクライン社への新規化合物の導出、メディムーン社への抗体医薬候補品の導出等に伴う一時的収入

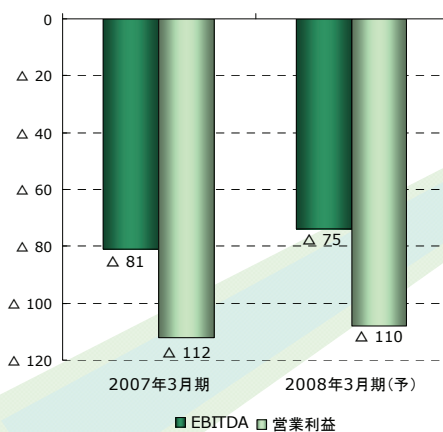
33



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

※ 医薬事業 EBITDA / 営業利益

(億円)



【主な増加要因】

- ・JTT-705に関するマイルストーン収入

【主な減少要因】

- ・ピラセプトロイリティーの減
- ・JT単体研究開発費の増 (米国ゲリックス社からの高リン血症治療薬の導入に伴う一時金を含む)
- ・'07年3月期:グラクソ・スミスクライン社への新規化合物の導出、メディムーン社への抗体医薬候補品の導出等に伴う一時的収入
- ・鳥居薬品の営業利益:53億円→45億円(△8億円)

■ EBITDA □ 営業利益

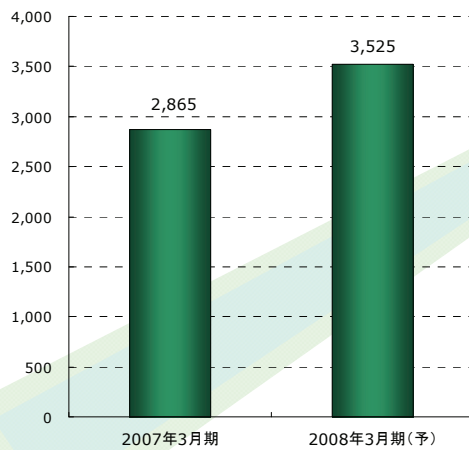
34



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 売上高

(億円)



【主な増加要因】

- ・加ト吉の連結
- ・飲料事業における自動販売機販路を中心とする着実な伸長
- ・ベーカリーの伸長

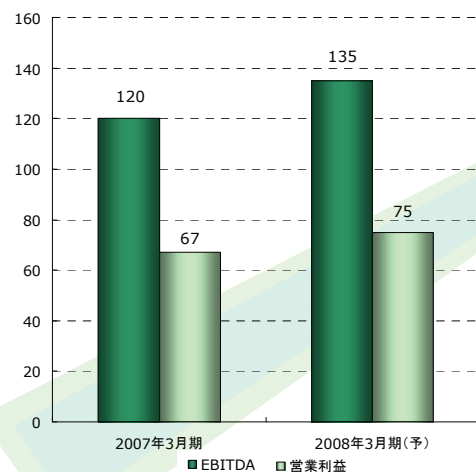
35



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 EBITDA / 営業利益

(億円)



【主な増加要因】

- ・加ト吉の連結
- ・のれん償却費(JB関連)の減

【主な減少要因】

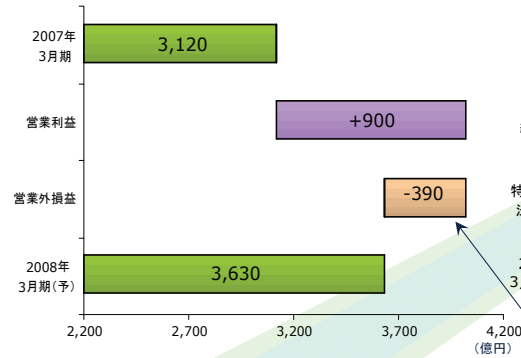
- ・事業拡大に伴う固定費増
- ・原材料高騰による利益率の低下

36



2008年3月期 業績予想_対前年度実績

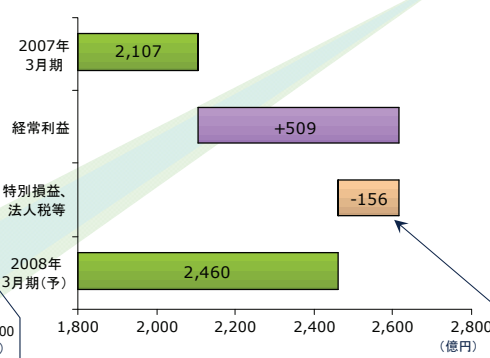
経常利益



改善要因: Gallaher社の買取に関連した為替ヘッジ、およびブリッジローン組成費用の減少 等

悪化要因: Gallaher社の買取に関連した支払利息の増加
Gallaher社の既存負債に関する支払利息の増加
為替差損の増加 等

当期純利益



悪化要因: 投資有価証券評価損の発生
成人識別自販機導入費用の増加
法人税等の増加 等

2008年3月期 第3四半期決算データ集(1)

1. 売上高の内訳

(単位:億円)

	06年4-12月期	07年4-12月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	36,374	47,042	10,668
国内たばこ事業	26,249	25,948	△ 301
除く輸入たばこ	16,915	16,735	△ 180
海外たばこ事業 ^(注1)	7,424	18,253	10,829
除く物流事業	7,424	16,494	9,070
全社税抜売上高 ^{(注1)(注2)}	12,411	15,142	2,730
国内たばこ事業 ^(注2)	5,625	5,509	△ 115
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	4,085	6,791	2,706
医薬事業	360	397	37
食品事業	2,185	2,277	92
飲料事業	1,462	1,504	41
加工食品事業	722	773	50
その他事業	155	165	10

(注1): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ、海外たばこ事業の物流事業を除く

2. 葉たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位:億円)

	06年4-12月期	07年4-12月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	△ 70	△ 31	39

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	06年4-12月期	07年4-12月期	増減
販売費及び一般管理費	4,334	5,161	827
人件費 ^(注)	1,145	1,421	276
広告宣伝費	167	164	△ 2
販売促進費	937	1,118	180
研究開発費	311	328	16
減価償却費	428	573	145
その他	1,344	1,554	210

(注): 人件費＝報酬・給料手当＋退職給付費用＋法定福利費＋従業員賞与＋賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円)

	06年4-12月期	07年4-12月期	増減
全社EBITDA	3,711	4,862	1,151
営業利益	2,734	3,667	933
減価償却費 ^(注2)	976	1,194	218
国内たばこ事業EBITDA	2,565	2,446	△ 119
営業利益	1,967	1,821	△ 146
減価償却費 ^(注2)	598	625	27
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	937	2,171	1,233
営業利益	709	1,740	1,031
減価償却費 ^(注2)	228	430	202
医薬事業EBITDA	△ 51	△ 19	32
営業利益	△ 73	△ 43	30
減価償却費 ^(注2)	22	24	2
食品事業EBITDA	107	90	△ 16
営業利益	66	56	△ 9
減価償却費 ^(注2)	40	34	△ 6
その他事業EBITDA	159	175	16
営業利益	67	88	20
減価償却費 ^(注2)	91	87	△ 4

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	902	1,933	1,031
-------------------------------	-----	-------	-------

(注1): EBITDA＝営業利益＋減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費＝有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位:億円)

	06年4-12月期	07年4-12月期	償却年数	終了
旧RJRI関連				
商標権	219	220	10年	09年4月
特許権	30	5	8年	07年4月

JTインターナショナル

(単位:百万ドル)

	06年1-9月期	07年1-9月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	46	147	主に20年
のれん	-	-	20年予定

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが19年4月、旧Gallaherが27年4月

6. 資本的支出

(単位:億円)

	06年4-12月期	07年4-12月期	増減
資本的支出	710	844	133
国内たばこ事業	393	438	45
海外たばこ事業 ^(注)	209	277	67
医薬事業	22	23	1
食品事業	31	39	7
その他事業	61	78	17

(注): 海外たばこ事業は、1-9月期の実績

7. 手元流動性^(注)

(単位:億円)

	07年3月末	07年12月末	増減
手元流動性	11,856	2,620	△ 9,235

(注): 手元流動性＝現預金＋有価証券＋現金

8. 有利子負債^(注)

(単位:億円)

	07年3月末	07年12月末	増減
有利子負債	2,192	12,177	9,984

(注): 有利子負債＝短期借入金＋社債＋長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	06年4-12月期	07年4-12月期	増減
JT販売数量 ^(注)	1,355	1,295	△ 60 億本
国内総需要	2,089	1,996	△ 93 億本
JT販売数量シェア	64.9%	64.9%	0.0%pt
JT千本当税込売上高	12,276	12,699	423 円
JT千本当税抜売上高	3,971	4,057	86 円

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006年4-12月期25億本、2007年4-12月期27億本。

【海外たばこ事業】	06年1-9月期	07年1-9月期	増減
販売数量	1,782	2,740	958 億本
GFB販売数量	1,074	1,459	386 億本
連結円ドルレート	115.90	119.41	3.51 円

【医薬事業】	06年4-12月期	07年4-12月期	増減
研究開発費(単体)	164	168	4 億円

【食品事業－飲料事業】	07年3月末	07年12月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	250,500	258,000	7,500 台
うちマーキング機	38,000	37,000	△ 1,000 台
うちコンビ機	66,000	71,000	5,000 台

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2008年3月期 第3四半期決算データ集(2)

1. 2008年3月期連結業績予想(中間時見込比較)

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
税込売上高	63,600	64,100	500
EBITDA	5,720	5,930	210
営業利益	4,050	4,220	170
経常利益	3,700	3,630	△ 70
当期純利益	2,560	2,460	△ 100
ROE(株主資本利益率)	12.5%	11.7%	-0.8%pt

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
資本的支出	1,420	1,380	△ 40
国内たばこ事業	670	630	△ 40
海外たばこ事業	500	490	△ 10
医薬事業	45	45	0
食品事業	60	65	5
その他事業	155	160	5

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	中間時見込	今回見込	増減
税込売上高	63,600	64,100	500
国内たばこ事業	33,680	33,530	△ 150
除く輸入たばこ	21,710	21,580	△ 130
海外たばこ事業	26,300	26,400	100
除く物流事業	23,700	24,100	400
医薬事業	435	490	55
食品事業	2,970	3,525	555
EBITDA	5,720	5,930	210
国内たばこ事業	3,000	3,000	0
海外たばこ事業	2,540	2,670	130
医薬事業	△ 130	△ 75	55
食品事業	115	135	20
営業利益	4,050	4,220	170
国内たばこ事業	2,130	2,140	10
海外たばこ事業	1,930	2,020	90
医薬事業	△ 165	△ 110	55
食品事業	70	75	5

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	中間時見込	今回見込	増減
販売数量	1,680	1,670	△ 10

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	中間時見込	今回実績 (速報値)	増減
販売数量	3,850	3,856	6
GFB販売数量 ^(注)	2,030	2,032	2
円/USドルレート	118.00	117.85	△ 0.15

(注) 08年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

2. 2008年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	47,693	64,100	16,406
EBITDA	4,646	5,930	1,283
営業利益	3,319	4,220	900
経常利益	3,120	3,630	509
当期純利益	2,107	2,460	352
ROE(株主資本利益率)	11.3%	11.7%	0.4%pt

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	1,021	1,380	358
国内たばこ事業	552	630	77
海外たばこ事業	320	490	169
医薬事業	30	45	14
食品事業	48	65	16
その他事業	80	160	79

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	47,693	64,100	16,406
国内たばこ事業	34,162	33,530	△ 632
除く輸入たばこ	22,000	21,580	△ 420
海外たばこ事業	9,996	26,400	16,403
除く物流事業	9,996	24,100	14,103
医薬事業	454	490	35
食品事業	2,865	3,525	659
EBITDA	4,646	5,930	1,283
国内たばこ事業	3,264	3,000	△ 264
海外たばこ事業	1,126	2,670	1,543
医薬事業	△ 81	△ 75	6
食品事業	120	135	14
営業利益	3,319	4,220	900
国内たばこ事業	2,453	2,140	△ 313
海外たばこ事業	810	2,020	1,209
医薬事業	△ 112	△ 110	2
食品事業	67	75	7

業績予想の主な前提条件

(1) 国内たばこ事業

(単位:億本)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,749	1,670	△ 79

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2) 海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	前期実績	今回実績 (速報値)	増減
販売数量	2,401	3,856	1,455
GFB販売数量 ^(注)	1,452	2,032	580
円/USドルレート	116.38	117.85	1.47

(注) 07年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven

08年3月期GFB: Winston, Camel, Mild Seven, B&H, Silk Cut, LD, Sobranie, Glamour

国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

新ベース: JTオリジナルブランド + JTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540	368	446	393	1,749
2007年度	427	430	437		

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395
2007年度	6,367	6,414	6,516		

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371
2007年度	12,698	12,694	12,704		

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053	4,063		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
2007年度	4,056	4,053	4,063		

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5	65.3		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
2007年度	64.9	64.5	65.3		

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7	14.0		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
2007年度	13.9	13.7	14.0		

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6	
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	
2007年度	62.0	61.6	62.1		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6	
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2	
2007年度	62.0	61.6	62.1		

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5	7.2		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
2007年度	7.2	7.5	7.2		

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1	
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	
2007年度	34.9	35.2	34.0		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1	
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8	
2007年度	34.9	35.2	34.0		

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2	5.4		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
2007年度	5.6	5.2	5.4		

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5	
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	
2007年度	23.5	22.0	22.5		
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5	
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2	
2007年度	23.5	22.0	22.5		

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04
2007年度	4.41	4.10	4.77		

* ビアニッシモ及びプレミアムは2006年3月より、ベヴェル・フレアは2006年12月より、

D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2008年2月7日現在）

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 （経口）	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社はPhase3移行を決定）
JTT-130 （経口）	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 （経口）	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害薬	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 （経口）	海外：Phase2	脂質代謝異常	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 （経口）	国内：Phase2 海外：Phase1	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-552 （経口）	国内：Phase2	高尿酸血症	URAT1（尿酸トランスポーター1）阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	
JTT-553 （経口）	海外：Phase1	肥満症	DGAT1（ジアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ1）阻害	トリグリセリドの合成に関わる酵素であるDGAT1を阻害することにより、小腸からの脂肪の吸収及び脂肪組織での脂肪の蓄積を抑制する肥満症治療薬	
JTT-651 （経口）	国内：Phase1	2型糖尿病	GP（グリコーゲンホスホリラーゼ）阻害	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTK-652 （経口）	海外：Phase1	C型肝炎	エントリー阻害	HCV（C型肝炎ウイルス）の肝細胞への感染過程を阻害するC型肝炎治療薬	
JTS-653 （経口）	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（バニロイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する鎮痛薬・過活動膀胱治療薬	

前回（2007年10月31日）公表時からの変更点：JTS-653の国内臨床入り

JTT-552 国内臨床試験 Phase1からPhase2へ移行

JTT-705について、導出先のロシュ社がPhase3移行を決定したことから、権利欄に記載